SHALOM-NETWORK

発行：NPO法人シャローム事務局

〒960-1241 福島県福島市松川町字東原17-3　Web　http://www.nposhalom.net　発行責任者：大竹静子
TEL／FAX　024-567-5322　E-mail　info@nposhalom.net

UDセンターの震災支援事業

「社会からの孤立を防ぐ生きがいコミュニティーサロン事業」
飯舘村支援事業の報告

シャロームでは、福島県の平成二十七年度ふるさと・きずな維持・再生支援事業補助金により補助金を頂き、「社会からの孤立を防ぐ生きがいコミュニティーサロン事業」を行っております。この事業の目的は、バラバラに点在するコミュニティの孤立を防ぐための「生きがい」づくりであり、そのためのサロン運営事業を行います。

シャロームでは、震災前より飯舘村との関係が深く、シャロームの「ノーマライゼーションせんべい」を飯舘村の敬老会に使って頂くなど、お世話になっておりました。そういった関係で、現在飯舘村を中心とした震災支援事業を行っております。

震災により飯舘村は今も全村避難区域となっており、未だに避難生活を余儀なくされております。四年以上におよぶ避難生活の現状は、仮設住宅等で引きこもりになってしまう高齢者がおり、特に男性の引きこもりが多くなっております。仮設住宅は自治会等があり、見守りも進んでいますが、交流を避けてしまう住民も増えてきています。さらに、借り上げ住宅は各地に点在するため見守りも行き届きにくく、仮設住宅以上に家から一歩も出ない高齢者も多いようです。

避難者の社会からの孤立の防止は喫緊の課題なのです。前年度、当補助金によるパソコンボランティア派遣事業を行いました。各仮設住宅から継続の要望が多かった一方で、パソコン教室で仮設を回っても、「パソコンに興味がない」と部屋から出ない方もいました。

そういった現状をふまえ、今年度は、レクリエーション等で誰でも気軽に集まる機会を作る必要性がると考え、「生きがい」サロンとして見守りの役割を強化した社会からの孤立防止のための事業を展開しております。

七月には五か所の仮設住宅とUDセンターで合計二十七回のパソコン講座を開催しました。八月には、二十回のパソコン講座の他、八月八日に松川第一仮設住宅にて流しそうめん涼み会を開催、八月二十二日と二十九日にも同じく旧明治小仮設住宅とUDセンターにおいて流しそうめん涼み会を開催しております。

八月八日の流しそうめん涼み会では、約百食分ものそうめんが使われ、松川第一仮設住宅の方のみならず、近隣の方など多くの方に参加して頂き、地域の交流事業としても大成功に終わりました。二十二日や二十三日も多くの方に参加して頂き、普段、パソコン教室に来ていない仮設住宅住民以外の方と交流出来たことはとてもよかったと思っております。

シャロームでは、毎日のように各仮設住宅を回るという事業計画であり、避難者に寄り添った事業となっています。あくまでも基本的には避難者が自ら自主性・主体性を持ってサロンの企画運営できる環境を提供することを目指しており、避難者が「お客様」にならないよう支援に心掛けています。

今回の流しそうめんを企画した際も、第一仮設住宅

（二面へ続く）

愛のメモ帳

九月になるとすっかり秋らしくなり、八月の猛暑が嘘のように思える。街の中は夕暮れとともに鈴虫が鳴いている。季節は駆け足で過ぎていく。

夏の日差しの中で咲き誇ったひまわりの話題は、季節とともに、種の重さで頭を垂れるひまわりの話題に、そして収穫する姿に変わっている。春から夏へ、そして秋を迎えると、一粒の種から芽を出したひまわりが、大輪の花を咲かせ、数千の種を実らせながら枝葉は枯れていく。季節を駆け抜けていくひまわりの一生、しかし、夏の華やかさを過ぎると多くの人々の関心事からは遠ざかる。ひまわりの一生は、子孫の繁栄のため多くの種を残すことで終わる。人々の関心は、花の華やかさのみに目を奪われる。しかし、それは、多くの種を残すことのための通過点であったことを思う。

一粒の種が、新たな種を生み出す一生に付き合うことで、人は多くのことを学ぶ。種が芽を出し成長するための土、そこに植えられた一粒の種、自分の意思では決められない与えられた環境のなかで芽を出し成長していく。適度の肥料、適度の水、条件がそろって始めて芽を出すことができる。干ばつ、水害、強風、鳥獣被害、多くの自然の試練を生き抜いたものだけが花を咲かせることができる。花が終わり種ができ始まる頃には、台風や秋の長雨、そして、鳥たちの餌場に。わたしたちが手にしている一粒の種、自然の試練を生き抜いた奇跡、そこには命のドラマがある。

一瞬の断片の知識は、全体の流れの中に理解することで、その意味を知り知恵となる。ひまわりの一生は、わたしたちに、自然の中で生きる命の営みを教えている。（T・O）